

住民と市民

JJ1SXA 池

ビジネスマンから区立和田中学校の校長に転身した藤原和博氏が、朝日新聞に掲載していた「杉並校長日記」に、住民と市民の違いを、例えば、犯罪が増え地域のセキュリティレベルが上がったとき、「警察が悪い」と文句だけ言うのが「住民」、自ら自警団を組織しパトロールに参画するのが「市民」の態度だ。・・・

身近に起こる政治・法律・社会問題についても無関心なのが「住民」で、地域社会で起こる教育、介護、住宅などの問題に積極的に参画し、半分責任を引き受けるのが「市民」と位置付けている、「自分の頭で考え、仕事と同時に国のあり方や地域社会での行動にも責任を持つ」、そういう成熟社会を担う「市民」が必要であり、そういう「市民」を育てる教育が必要である・・・と、説いています。

藤原氏の信奉者は、沢山いますが、我が **240** にも絶対的な信奉者がいるようです、良い事だと思えます、と言う私も氏の主張には耳を傾けさせられます。

240 グループの中でも、**240** に対しての考え方、接し方で、この「住民」タイプと「市民」タイプに区分けすると、圧倒的に「住民」タイプが多いような気がします、私の偏見でしょうか？

240 は、「より強く、より遠く」と共に、「紳士的」であることを標榜しています、大人の集まりですから、至極当然のことですが、大人であるならば、「自分の頭で考え、**240**での行動にも責任を持つ」・・・この考えは持っていたきたいものと思います。

240グループは、お互いが親しくなり過ぎて、一部では排他的なグループと目されることもあるようですが、スタート以来続けているオープンなスタイルこそが、このグループの永続きの一因となっていることと信じています。

そのような中であって、あまりにも、極端な「住民」タイプを通し続ければ、いつかは、相手にされなくなり、憂き目を見る事があっても然るべき結末とも思います。

私の独断と偏見で言うならば、そういう危険性をはらんだ局は皆無ではありません、私が折に触れ伝えている、皆さんの集約された意見を見無視し、あるいは、耳にもかさず、そういう機会を持つとくれない局、反対意見はありがたく承りますが、あまりにも無関心では、一寸困ったものです、マイペースの人だからでは済ませられないところもあります。

そういう局が友人であり、友人でなくてもそういう局と **QSO** をする機会が多い、あるいは接する機会が多い方は、ぜひ啓蒙していただきたいものと思いますが、私のわがままな、勝手な考えでしょうか？

ともあれ、我々は、成熟社会を担う「市民」でありたいものです、**240**においても、グループの継続、発展のためには不可欠の最低条件でしょう。